

科学技術・学術審議会 国際委員会(中間とりまとめ、平成21年7月21日)  
科学技術の国際活動の推進に関する今後の重要課題について 概要  
～変動する世界におけるこれからの日本の役割と挑戦～

資料1-4  
科学技術・学術審議会  
総会(第31回)  
H21.9.15

## I 科学技術における国際活動の意義と基本的視点

### 【科学技術を取り巻く世界の状況】

- グローバル化の進行、新興国の台頭による世界の多極化、地球規模課題の顕在化など
  - ・イノベーション創出による危機の克服のため、科学技術の重要性の高まり
  - ・頭脳循環が科学技術の国際活動の役割を著しく増大

### 【これからの我が国の役割】

- 人々の幸福、社会の健全で持続的な発展に役立ち、相手国と相互に有益な分野を見極め、そうした分野で重点的に質の高い科学技術協力に取り組む
- 強みを有する分野の科学技術力を活かして、国際社会において特色ある国家に

### 【基本的視点】

#### ○ 科学技術外交の視点

我が国の科学技術力を我が国及び世界のために活用し、各国との取組を通じて、知的資産を生み出し、地球規模の課題、相手国の問題を解決・改善に導き、我が国への信頼を構築

## Ⅱ 第4期科学技術基本計画に向けて取り組むべき重要課題

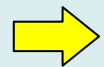
### 1. 科学技術分野における国際協力の推進

科学技術外交の観点から、多様で重層的な科学技術国際協力を強力に推進

#### (1) 先端研究分野での協力の推進

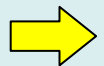
- ・我が国は、環境・省エネ技術等、安全で持続可能な生活を実現する上で鍵となる分野に強みを有しており、このような分野を中心として、先端研究分野での国際協力を推進
- ・国際宇宙ステーション(ISS)等大規模プロジェクトの増加。大規模プロジェクトへの参画の在り方について、長期的な見通しの下、基本的な方針を持つ。各分野の状況を勘案し、主導的な立場を担うか、参画にとどめるかの議論と判断

#### (2) ODAとの連携等による地球規模課題対応等の分野での協力の推進



ODA事業との連携等によるアジア・アフリカ諸国等との国際共同研究は、科学技術外交を推進する上で重要。地球規模課題対応国際科学技術協力事業(SATREPS)の拡充

#### (3) アジア・アフリカ諸国等と対等なパートナーシップで取り組むべき分野での協力の推進



中、韓、シンガポール、インド、南アフリカ等科学技術力を高めてきている諸国等との協力のためのプログラムの強化。特にアジア地域との関係構築・強化

#### (4) 二国間、多国間の枠組みの有効な利用

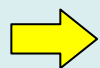
#### (5) 国際共同研究と留学制度との連携

## 2. 国際的な人材流動の促進、国際研究ネットワークの強化

世界規模の頭脳循環の中で、研究・人材ネットワークの確固たる一員に

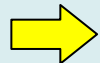
### (1) 日本の研究者等の海外派遣の拡充

- ・ 研究者に至るまでのステージに応じた施策
- ・ 「若手研究者海外派遣事業」等の効果的な推進



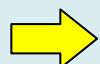
若手研究者海外派遣事業(平成21年度補正予算)等により、目的意識の明確な若手研究者等を積極支援

- ・ 海外経験の正当な評価、若手研究者のポスト及び基盤的経費の拡充



助教等若手研究者のポストの拡充

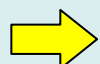
- ・ 大学等の海外事務所の在り方
- ・ 研究所の海外設置



世界の最先端の研究に接し、共同研究を進めるため、研究所の海外設置に関する制度面の課題整理のため、国において調査研究

### (2) 外国の研究者の受入れの拡充

- ・ 外国の研究者受入れのための支援措置の拡充
- ・ 大学・研究機関における外国の研究者の受入れ体制の整備
- ・ 周辺環境の整備



研究機関の集積している都市において周辺自治体と連携し、子どもの教育、配偶者の就職など外国の研究者の家族にも暮らしやすい環境を特区のような形で重点的に整備

- ・ 帰国後のネットワークの維持・発展

### 3. 科学技術の国際活動を推進する基盤の強化

#### (1) 海外動向情報の収集・分析体制の充実

- ・ 科学技術の海外動向に関する情報を継続的に収集・分析できる体制と、そのための人材育成が重要

#### (2) 研究者以外の科学技術の国際活動を担う体制の強化

- ・ 在外公館の科学技術アタッシェの役割は重要であり、在外の研究者や大学、関係機関の海外拠点等との協力体制の構築を推進することが必要
- ・ 大学等研究機関、関係機関及びそれらの海外拠点において、国際業務を担う専門人材の役割は重要であり、育成プログラムの開発やキャリアパス等の整備が必要

#### (3) 我が国発の科学技術の普及・標準化

- ・ 我が国の科学技術を国際的に普及させ、標準化につなげるためには、当該分野の国際的なネットワークの中に入り、共同研究を通じて研究の輪を広げることが必要

#### (4) 機微技術、安全保障関連技術の扱い

- ・ 国際交流や国際共同研究を進める際、機微技術や安全保障関連技術の扱いには留意が必要であり、専門人材の育成・配置など大学等研究機関の対応力の向上、そのための国の支援が必要

科学技術外交の基盤をなす国際関係業務担当人材の体制強化

## Ⅲ まとめ ～変動する世界におけるこれからの日本の役割と挑戦～

1. 分野や相手国に応じた多様で重層的な科学技術国際協力の強力な推進
2. 世界規模の頭脳循環の中での研究・人材ネットワークの確固たる一員となるための取組の強化
3. 科学技術のグローバル化に対応した我が国の科学技術国際活動の基盤強化